



# 自然エネルギーで 快適に暮らす家



## エアムーブ住宅(株)

代表取締役 深川 修 氏 (前橋支部所属)

### Q & A

#### ▼会社紹介・自己紹介

当社は二〇一七年に、それまでの「司建設」から社名を変更しました。同友会の中では司建設の方が馴染み深いかと思います。社名にあるとおり、特徴のある工法で住宅を建てています。

私自身は中途採用で入社し現場監督、設計士として家づくりに携わってききましたが、二〇一七年に三代目社長に就任しました。先代や創業者との関係を聞かれることもしばしばありますが血縁関係はありません。いわゆる同族での事業承継ではありませんが、だからこそ

歴史を引き継ぎながら、新しい視点で会社を進化させたいと考えています。

#### ▼イチオシPR

当社の売りの一つ選ぶとすれば、住宅工法としては日本で初めてグッドデザイン賞を受賞したパッシブ住宅工法「エアムーブ工法」です。

太陽光や地中熱などの自然エネルギーを活用し、環境に優しい「冬暖かく、夏涼しい」健康で快適な家を真心込めて造っています。

もとは環境先進国ドイツで、地球環境維持の観点から開発されたパッシブ住宅。それを日本の気候風土に合わせたパッシブ住宅として、自社開発のエアムーブ工法により家の中の温度差を無くし快適さと省エネ性能をアップさせました。

しかし、これらの工法は直接目に見える物ではありません。床下や壁の中、屋根裏といった見えない所に一番大事な部分が見え隠れしてしまいます。ですが「見えない部分を大切に」それが開発者の想いでもあり、社風にも通じています。



#### ▼開発の経緯

二十数年前、お施主さんに喜んで貰うために高価な材料で格好の良い家を建てた松井健司(創業者)は、「家が寒い。何とかならないか」と

相談を受け、そこから見た目ではなく、気密施工や断熱施工といった快適な家づくりを追求します。研究開発を重ね、家の中(壁や屋根裏)に二重の通気層を設け、空気の温度差を利用して室内の温度をコントロールするエアムーブ工法を開発しました。他にも、基礎コンクリートを断熱材で挟む「タイトモールド工法」。その工法技術の延長として「アンカー基礎」を開発しました。これは基礎の一角を地中に張り出す箱のように成型し、船の碇(いかり)の様な働きで地震の横滑りに効果を発揮します。また、その箱形の空間は、室内で地下空間として収納などに有効活用できます。

しかし、これらの工法は直接目に見える物ではありません。床下や壁の中、屋根裏といった見えない所に一番大事な部分が見え隠れしてしまいます。ですが「見えない部分を大切に」それが開発者の想いでもあり、社風にも通じています。

#### ▼今後の課題とこれから

先に紹介したように、この工法は、HPなどで解説図を見ることはできますが、建物完成後は直接見る事ができません。



そこで当社では、本社南側にゲストハウスを建てて見学はもちろん、体験宿泊にも対応しています。他にも、地域に開放し様々な活動に使ってもらったり、社内ミーティングを行うなど、体感しながら活用を促すなど、工夫を凝らしています。

長年の研究開発で生まれたエアムーブ工法も、完成された工法ではありません。今なお改良、改善を繰り返して「進化」を続けています。今あるモノで満足せずに、常に進化させる企業を目指し、当社に関わる人の幸せを実現させたいと思います。

所在地 前橋市大渡町1-12-6  
連絡先 TEL027-254-3988  
URL http://www.airmove.co.jp/